

「TONICHI Media Gate（トーチメディアゲート）」 岩手日報ニュース面をリモート制作 ～経済・国際面、「サテライト整理」本格化～

東日印刷株式会社（本社：東京都江東区、社長：西川光昭、以下 TONICHI）は4月15日、岩手日報社の「経済・国際」面のリモート制作を始めました。週3日の制作を請け負います。岩手日報側と記事の価値判断などを共有する編集会議や連絡はオンラインで行われ、距離を感じさせない本格的な「サテライト整理」として注目されています。



②岩手日報紙面をリモートで制作する TONICHI 社員 ③担当ディレクターによる紙面修正作業

初日の15日、TONICHI 編集者は岩手日報社から出稿された記事を次々と読み、見出しをつけ、本文を整理・削除し、紙面を組み版しました。完成した紙面は担当ディレクターがチェックし、岩手日報側と意見を交わしたうえで仕上げました。

紙面制作には、共同通信加盟社が利用する「新聞共有システム」を活用しています。TONICHI 編集制作局がその「組版環境」にアクセスすることで、岩手日報社とは異なるシステムの壁を克服しました。

こうした紙面制作支援サービスは「メディアの未来を開く扉」を掲げる「TONICHI Media Gate（トーチメディアゲート）」事業の一環として2025年4月から展開していますが、ニュース面を定期的に制作するのは今回が初めてです。

TONICHI は毎日新聞グループの中核企業として、夕刊紙や専門紙、自治体広報紙、大学報など数多くの媒体制作を手掛けています。今後も県紙や地域紙の紙面制作を支援し、「新聞文化を守る」取り組みを強化する方針です。

〈本件に関するお問合せ〉
東日印刷株式会社 プロモーション本部
tonichi-printing.co.jp/inquiry/for-media
「TONICHI 報道問い合わせ」で検索してください